

健康がさかさま

こころの
健康づくり

精神疾患の患者さんに対する家族の接し方

統合失調症やうつ病、双極性障害（躁うつ病）、神経症など多くの精神疾患の再発率を大きく上げてしまう要因の一つとして、家族は患者さんに対して「感情表出が高い」ことが指摘されています。

「感情表出が高い」とは、「何もしないでゴロゴロして！」など批判的だったり、「この子は病人だから私がいてあげないといけない」など過保護や過干渉だったりすることです。

家族が感情表出を低くするには、患者さんへの対応について次のように心がけ、できることからひとつずつ実践してみることが大切です。

- ・ 批判せず支持的に接する
- ・ 共感したり話し合ったりして安心感を与える
- ・ 対立はできるだけ避ける
- ・ 本人ができることには手を出さない
- ・ 患者さんの良いところを見逃さず、ほめたり感謝したりする

そのためにも、家族が「相談して必要なサポートやサービスを受ける」「疾患について学ぶ※」「共感してもらえぬ場に顔を出す※」など、病気に関する知識を得ることやストレスを軽減することが効果的です。



※精神疾患の患者さんを持つ家庭が集まる家族会は「学び」や「共感」の場です。市内では、笠間地方精神障害者後援会「みやび」が活動しています。

○笠間地方精神障害者後援会「みやび」連絡先▶Tel0296-77-6610（武藤）

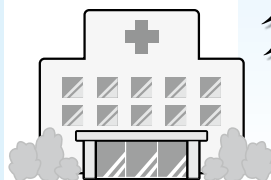
保健センターは、心の悩みについて本人や家族が相談できる身近な窓口であり、「心の相談室（要予約）」も実施しています。

【問合せ】友部保健センターTel0296-77-9145・笠間保健センターTel0296-72-7711・岩間保健センターTel0299-45-7888

笠間市立病院

新任医師の紹介

笠間市と筑波大学は、地域医療に従事する医師の養成と地域医療の充実を図るため、笠間市立病院内に地域医療教育ステーションを設置し、筑波大学附属病院から指導医と研修生を受け入れる事業の締結をしています。



春田淳志医師
はるた じゅんし

担当…内科（総合診療）

ごあいさつ

私は病気だけでなく、心や社会状況の関わりや家族の状況も踏まえてその人を診る家庭医療・総合診療を専門にしてみました。少しでも地域の皆さんのお力になれたらと思いますので、お気軽にご相談ください。

笠間市立病院 診療のご案内

【診療科】

内科、皮膚科

【一般診療】

月曜日～金曜日

（土日・祝日・年末年始は休診）

午前8時30分～11時

午後1時～4時

【平日夜間・日曜初期救急診療】

平日夜間：午後7時～9時

（土日・祝日・12月31日～1月3日は休診）

日曜日：午前9時～午後5時

【問合せ】

Tel0296-77-0034

※診療内容については、診療時間内にお問い合わせください。

